



あっという間に2月下旬となり、もうすぐ3月。先日、年長になってからのこども園での生活を振り返りました。楽しかったこと、うれしかったこと、頑張ったことを思い出すと同時に、「できるようになったことが増えた」「大きくなった」と自分の成長を感じている子もいました。学級の中で、もうすぐこども園での生活が終了することも伝えていきます。小学生になることを楽しみにする姿がある一方で、寂しさや不安を言葉にする姿も見られます。一人一人、様々な思いがあると思いますが、残りのこども園での生活を十分に楽しみ、自信をもって修了を迎えられるように子どもたちを支えていきます。

そら組・うみ組タイム

修了まで学級みんなで過ごす日数がわずかになりました。そこで、各学級で、この1年間にみんなでした遊びの中で、もう一回したいことを一人一人が挙げ、“そら組タイム”“うみ組タイム”として、楽しんでいます。リレーや鬼ごっこ、コマ・カルタ大会、運動会で踊った「OLA!!」など、お気に入りの遊びをリクエストした子どもたち。1日の中の“お楽しみ”として、学級みんなで思い切り遊ぶことを楽しんでおり、この時間を通して、学級としての一体感もより一層高まってきています。

残り少ないこども園での生活ですが、子どもたちがこれまでの園生活を振り返る中で、楽しかったことを思い出したり、友達と過ごしてきた日々を思いを馳せたりできるよう、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。また、「こんなことができるようになった」と子どもたちが自分の成長を実感する中で、自信をもって小学生になれるように支えていきたいと思っています。



ドッジボール



靴 鬼

ひな人形作り

もうすぐひな祭りです。園では、2月上旬に子どもたちと一緒にひな人形を飾りました。人形や道具を一つ一つ手に取り、「これはどこに置くのかな?」「この太鼓は誰が持っているのだろう」とひな人形の写真と見比べながら飾っていきました。

ひな人形を飾り付けた後、自分のひな人形作りに取り組み始めました。空き瓶に紙粘土を付けて顔を作り、何種類もの和紙の中から自分で着物の柄を選んで着せ、毛糸で髪の毛を付け、台座も作り…、何日もかけて自分のひな人形を作っています。その中で、「今日はお雛様の着物ができたから、明日はお内裏様の着物を着せよう」など見通しをもって進め、途中で諦めずに最後までやり遂げられるよう支えています。保護者の皆様には、空き瓶の用意にご協力いただき、ありがとうございました。

※3月3日(火)に持ち帰ります。

作品が壊れないよう、持ち帰る日に**マチの大きな紙袋**をお持ちください。

顔をつるつるにするぞ!



(紙粘土で顔を作る)

耳をつけよう



(和紙を貼り着物を着せる)

次は帯を巻こう

おたんじょうびおめでとぅ